

実践記録

146

シリーズ

地域の人たちに育まれる公民館(上越市八千浦交流館はまぐみ)

上越市立公民館 主任 小池 和美

1 はじめに

上越市八千浦地区は上越市の海岸部に位置し、公民館八千浦分館は、建設中の上越火力発電所用地に程近い「八千浦交流館はまぐみ」の中にあります。ここは3年前に開館し、スポーツが楽しめる多目的ホール、会議や学習で利用できる集会室や、調理室、憩いの場となる浴場などが備わっており、年間利用者は延べ4万人を超える、比較的大きな施設で、地域の新たな生涯学習施設として、八千浦地区以外の市民からも多く利用していただいています。

2 地域づくりの核として

はまぐみには、公民館協力員1名が勤務し、教室運営や学習相談などを行っています。また、地区住民で組織する「まちづくり協議会」の事務局が置かれているため、地域のさまざまな活動の核となっています。

公民館運営には、公民館長が委嘱した推進員5名(地元の学校長やまちづくり協議会から選出された方)が、年1回の会議のほか、年間を通じて助言や協力をしています。

地域、学校と連携することで住民の皆さんには「私たちの公民館」という意識が育ち、さまざまな活動の発展につながります。例としては、小学校と地域が連携し、施設名になっているはまぐみの苗を育て植樹する活動があります。開館1年目から続く活動です。はまぐみが数年後に実をつけるのを楽しみに、地域の方々が大切に育てています。児童にとっては、ふるさとを愛する心を育む良い活動であり、公民館としても有難いことです。

3 3周年記念イベントの実施

また、公民館として、子どもから高齢者まで多様な世代が集まり、個人や団体が利用される中で、世代や分野を超えた人と人とのつながりづくりができないかと、開館以来、さまざまな学習活動を推進してきました。

今年2月、ある教室の閉講式のとき、公民館側から一つの提案をしました。

それは、4月に開館3周年を迎えるにあたり、何

かイベントができないかというものでした。すると、受講生の中で、「絵本の読み聞かせが出来るよ」「絵手紙の体験が出来るよ」という声上がり、ささやかな3周年記念イベントを実施することになりました。またこの他、煎茶道の団体から協力いただき、体験教室を開くことになりました。



絵本のおはなし会

絵本のおはなし会は折り紙遊びとセットで、地区青少年育成会議と共催で実施することになりました。



絵手紙体験教室

またホールには施設利用団体の手作りポスターを展示しました。

当日は、家族連れなど、地域の方々が大勢集まりました。おはなし会を担当された方は、「最初は緊張したけど楽しかった」と満足された様子。絵手紙サークルの皆さんも「これをきっかけに会員が増えそうだ」「やってよかった。またやりたい」と笑顔。受講生から教える側になり、参加者に楽しんでもらえたという達成感が感じられました。

4 おわりに

このイベントを通じて、「はまぐみ」が地域に愛され、育まれる公民館として、また少し力をつけたようです。

今後も単なる入浴施設や集会施設ではない「公民館」として、「はまぐみ」を核とした地域づくりが進められることを期待し、応援していきたいと思えます。